

明星の地名のルーツ!?

安養寺の明星水

明星地区上野自治会にある安養寺は、鎌倉時代に建てられ、町内でも歴史の古い寺院です。戦国時代ごろに今の伊勢街道沿いに移転したとされ、寺の裏手の綺麗な庭の一角に井戸が残されています。

この井戸は「明星井」と呼ばれ、井戸の水は「明星水」として霊水（万病に効くなど効能があるといわれる湧き水）とされました。

明星水は京都府伏見の「直井」、茨城県神栖市の息栖神社の「忍潮井」とともに日本三霊水ともいわれています。

言い伝えでは、明星＝金星が安養寺の井戸に降り立ち、この井戸から汲んだ水を用いたお茶を飲めば、身のケガレが取れるとされ、伊勢神宮への参宮者にふるまわれたので大変にぎわい、明星や新茶屋の地域では茶屋が多くできました。上野のことを「本明星」と紹介している史料などもあります。

安養寺の清めの火として別のお話も伝えられています。（民話のシリーズを参照）どちらが正しいかは不明ですが、長い歴史を持つ安養寺は、多くの貴重な文化財が残されているだけでなく、明星という地名の由来にもなった重要なお寺です。



安養寺に残る明星井



『伊勢参宮名所図会』に描かれた明星周辺の茶屋のにぎわい